




 和 面
 向 不
 北 月
 珠 五




^ 13
 3001



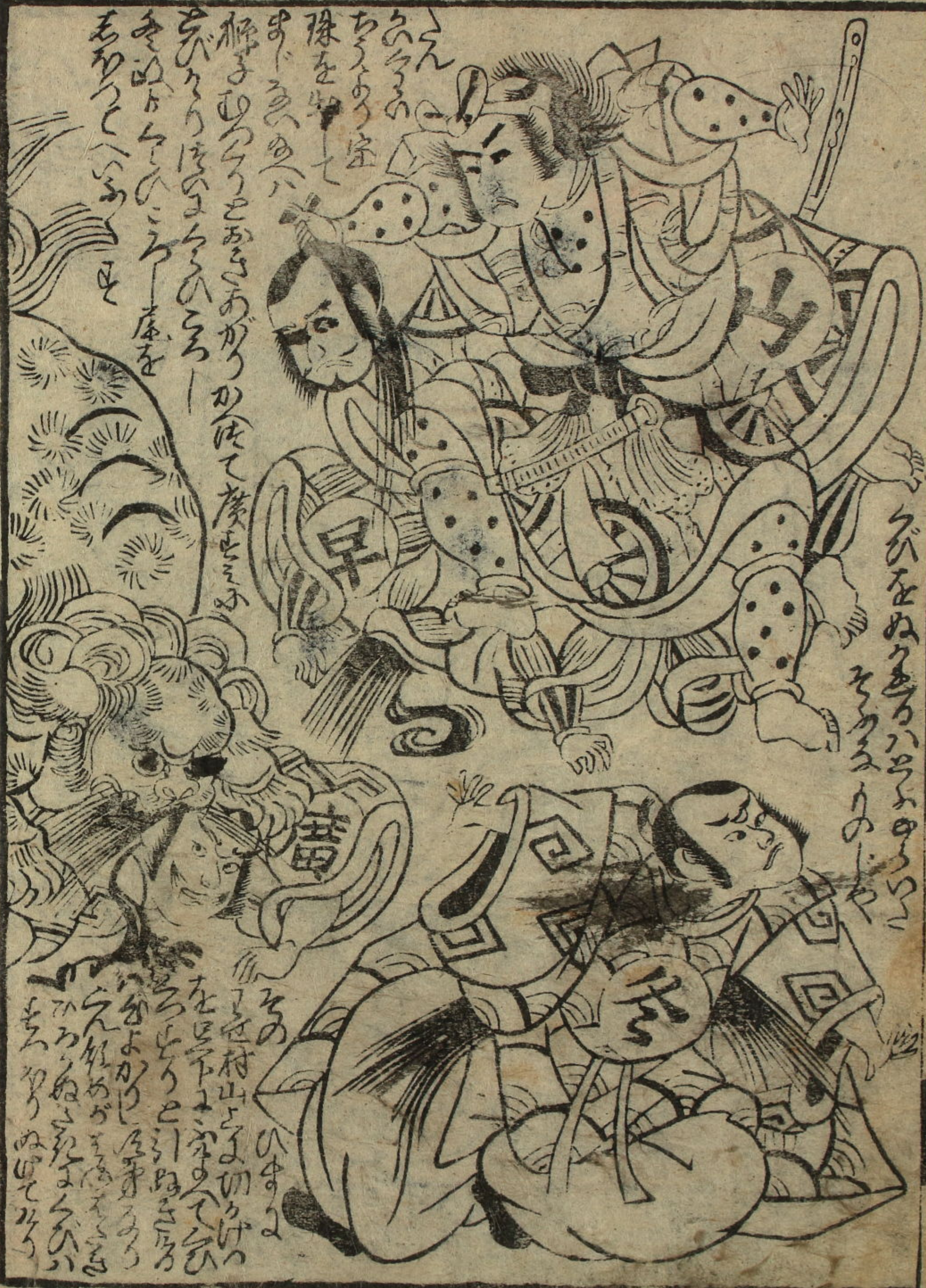


門 へ 13
號 3001
卷

へ 13
3001

昭
三月十八





うん
あつち
珠を知りて
おどろかぬ
桐子あつちとあつちあがり
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち

うんをぬりあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち



うん
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち
あつちあつちあつちあつち



あつたかゝるいふをきよむのほつた
ね魚のよきとてあつたまふまの
こゝろへいふまのつゝいふま
いふまのいふまのいふま
あつたかゝるいふをきよむのほつた
ね魚のよきとてあつたまふまの
こゝろへいふまのつゝいふま
いふまのいふまのいふま
あつたかゝるいふをきよむのほつた
ね魚のよきとてあつたまふまの
こゝろへいふまのつゝいふま
いふまのいふまのいふま



だんまのいふいふ
これ中のいふいふ
よのいふいふ
あつたかゝるいふをきよむのほつた
ね魚のよきとてあつたまふまの
こゝろへいふまのつゝいふま
いふまのいふまのいふま
あつたかゝるいふをきよむのほつた
ね魚のよきとてあつたまふまの
こゝろへいふまのつゝいふま
いふまのいふまのいふま

鳥居清満馬



これがめんかやふんといハ
 おのそよむうふてそひまど
 かくあり女帝の御まのこのひらき
 けしぬはむらひあふあありひ珠今
 志後ののちうやうとあるむら
 夜の文字宗帝はひこの人でも
 くるをまけしあふらちたえ
 さいまひのうぬあり

こがごのぬをうごの香を
 ちてあつちまらひのて
 ちらよびのそありぢうひ
 ちてあつちまらひのて
 あしにせんを人相好ちああり
 こかごをせんせんをのうた
 ちてあつちまらひのて
 ありかたれちありちあふん

五冊
 内
 馬

鄂州
新居
族